



主な整備箇所

平成28(2016)年度



平成32(2020)年度



目次

～山口県の道路整備計画～

概要	1
----------	---

1 主な整備箇所(全県版)

主な整備箇所(位置図)	2
-------------------	---

2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域	4
2 柳井地域	11
3 周南地域	17
4 山口・防府地域	24
5 宇部・小野田地域	31
6 下関地域	37
7 長門地域	45
8 萩地域	50

「やまぐち未来開拓ロードプラン」

「やまぐち未来開拓ロードプラン（以下、「ロードプラン」）」は、山口県が進める道路の整備や保全の基本的な方針をまとめた計画であり、これからの本県のみちづくりの指針となるものです。

県では、この計画に基づき、厳しい財政状況の中ではありますが、元気な産業や活気ある地域の中で、県民の皆様がはつらつと暮らすことができるよう、重点的・計画的に道路の整備・保全を推進してまいります。

やまぐちの未来を拓くみちづくり

誰かがはつらつと暮らすことができないやまぐちのみちづくり
 未来にわたって、元気な産業や活気のある地域の中で、県民

方針 I 産業・地域を『支える』

- 方策
- (1) 産業力・観光力の強化を支援します!**
 - 物流等の迅速化・円滑化
 - 特殊車両通行許可制度の改善等
 - 観光客の利便性の向上
 - (2) 暮らしやすいまちづくりを支援します!**
 - 交流・連携の強化
 - 生活の利便性の向上
 - (3) 渋滞対策を推進します!**
 - バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

方針 II 人々のいのちを『守る』

- 方策
- (4) 安心・安全な交通環境の確保を図ります!**
 - 生活道路等における交通安全対策の推進
 - 全てのひとが安心して移動できる歩行空間の形成
 - (5) 救急活動を支援します!**
 - 緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保
 - 救急医療施設への搬送時間の短縮

方針 III 災害に『備える』

- 方策
- (6) 災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します!**
 - 防災・減災対策の推進
 - 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
 - (7) 道路施設の耐震対策を推進します!**
 - 橋梁の耐震補強

方針 IV 未来に『つなぐ』

- 方策
- (8) 道路施設の長寿命化を推進します!**
 - 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
 - 山口県道路メンテナンス会議等を通じた市町支援
 - (9) 適切な維持管理に努めます!**
 - 日常的な維持管理の充実・効率化
 - 異常気象時等の対応
 - 地域住民との協働による維持管理

「主な整備箇所」

県では、みちづくりを円滑に進めていくためには、県のみちづくりに関する考えを明らかにし、県民の皆様への御理解・御協力を得ることが重要であると考えています。このため、ロードプランの別冊である「主な整備箇所」において、地域ごとの多様なみちづくりの課題やニーズを踏まえ、今後5年間で整備を進める「主な整備中箇所」や、「整備が求められる主な路線」を示すものです。

地域別の「主な整備箇所」

県内を県の土木建築事務所が所管する8地域に分け、地域ごとに今後5年間（平成28（2016）年度～平成32（2020）年度）に整備を進める主な箇所などを示します。



《構成》

8つの地域ごとに「地域の現状と課題」、「地域のみちづくり」及び「地域の主な整備中箇所」を示します。

地域の現状と課題

今後のみちづくりを重点的・計画的に推進していくため、県民の皆様から頂いた御意見や各種統計調査の結果、市町の総合計画などを踏まえながら、みちづくりに関する地域の現状を把握したうえで課題を整理しています。

地域のみちづくり

課題を解決するための具体的な取組を示します。

○主な整備中箇所

現在整備中の主な路線（工区等）を表と図面に例示し、その目的（ロードプランの方針）や内容、計画期間内での目標を明らかにします。

○整備が求められる主な路線

地域の課題を踏まえ、ロードプランに沿ったみちづくりを進めるうえで、今後早期事業化や維持管理等に取り組む主な路線等を表と図面に例示します。

地域の主な整備中箇所

主な整備中箇所について、事業の概要や目的（効果）などを図面等を用いて示します。

【地域別の「主な整備箇所」】

地域の主な整備中箇所

地域のみちづくり

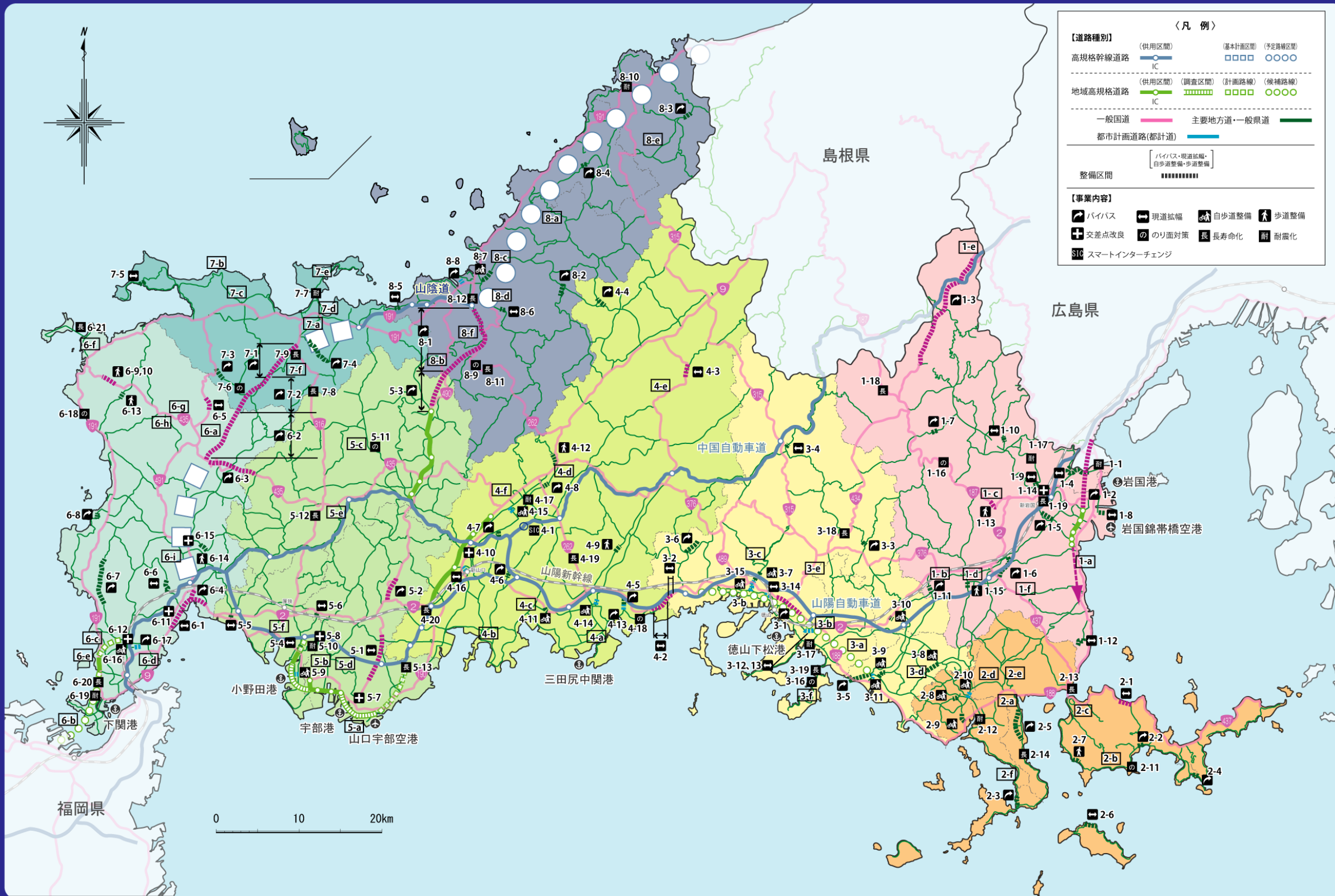
- 主な整備中箇所
- 整備が求められる主な路線

地域の現状と課題

1 主な整備箇所(全県版)

主な整備箇所(位置図)

※ 「主な整備箇所」は、山口県における道路事業の透明性を確保するため、今後の道路整備に向けて取り組むべき4つの方針と各事業の関係、道路整備の置かれた状況を明らかにするため策定した計画です。
 ※ 本位置図は、山口県内で整備中箇所もしくは整備が求められる主な路線を例示しています。





「主な整備中箇所」の事業内容は、大きく分けて以下の9つに分類しました。

バイパス

渋滞が生じている市街地などで、現在の道路を拡幅することが困難な場合に、交通分散による渋滞の緩和や、交通安全の確保を図るため、新たな道路を建設します。



現道拡幅

車両のすれ違いが困難な場合や渋滞が生じている場合に、利便性・安全性を向上するため、現在の道路を拡幅します。



自歩道整備

自転車と歩行者の通行量が多い道路において、自転車や歩行者の通行の安全を確保するため、自転車歩行者道を整備します。



歩道整備

歩行者の通行量が多い通学路等において、児童等の通行の安全を確保するため、歩道を整備します。



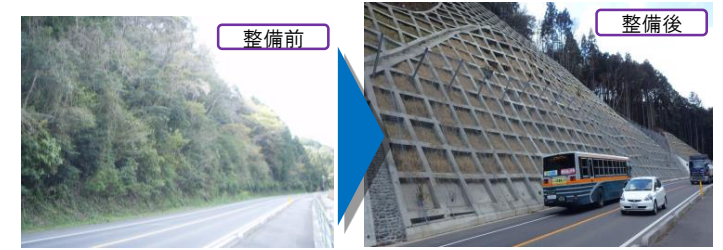
交差点改良

交差点及びその付近において、交通事故の防止や交通渋滞の緩和を図るため、交差点改良(右折レーンの設置、交差点形状の改善等)を行います。



のり面対策

土砂崩れや落石等の危険性が高いと判定されたのり面において、安心・安全な通行を確保するため、のり面対策(のり枠工、落石防護網工等)を行います。



のり枠工+落石防護網工

耐震化

緊急輸送道路等の橋梁において、地震時にも桁の落下や橋脚の損傷を防ぐ補強等を行います。



落橋防止構造



鉄筋コンクリート巻立て工法

長寿命化

道路施設の健全性の確保や維持管理費用の縮減等を図るため、点検・診断を実施し、計画的に修繕・更新を行います。



橋梁作業車を使った点検状況



断面修復工法

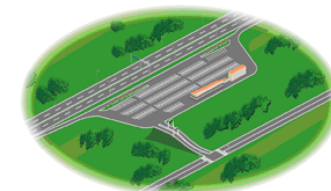


塗装塗替え工法



SIC スマートインターチェンジ

既存の高速道路を利用しやすくするため、サービスエリア、パーキングエリア等から乗り降りできる簡易なインターチェンジを設置します。



出典:国土交通省



通行可能な車両(料金の支払い方法)は、ETCを搭載した車両に限定していません。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、従来のICに比べて低コストで導入できます。

2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の現状と課題

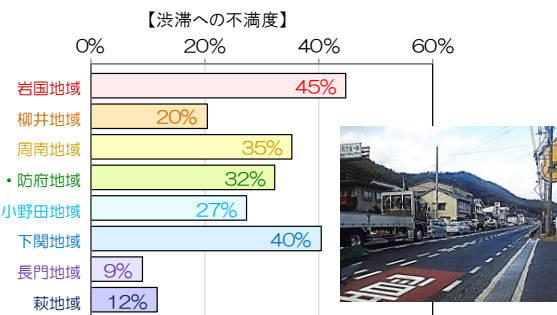
課題の所在

- 観光地や広域交通拠点(岩国錦帯橋空港等)へのアクセス強化による**観光客の利便性向上**
- 都市間や拠点間の**交流・連携強化**
- 市街地の**渋滞対策**
- 歩行者や自転車の**事故抑制**
- 災害時**にも機能する信頼性の高い道路網整備
- 道路施設(橋梁・トンネル等)の**老朽化対策**

幹線道路を中心とした渋滞

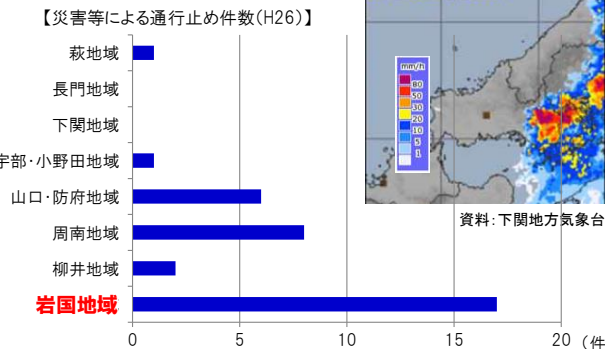
国道2号・国道188号は、岩国港及び周辺工場の物流経路として、また、市街地から岩国ICへアクセスする経路としての役割を担っていますが、域内交通と通過交通が混在し、渋滞が発生しています。特に、平成24年12月に岩国錦帯橋空港が開港されたこともあり、これまで以上に所要時間の定時性を確保することが求められています。

よく使う道路の車の流れや**渋滞の状況** についてどう思いますか？



県内共通 近年の災害発生状況

平成26年8月6日、岩国市岩国で1時間降水量71.0ミリ(観測史上1位)を記録する豪雨が県東部を襲いました。この雨により国道2号や県道岩国大竹線が土砂崩落等で通行止めになるなど、幹線道路の通行規制が市民生活に大きな影響を与えました。



広域連携による観光振興

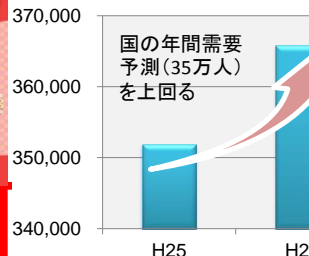
広島県広島市及び廿日市市並びに山口県岩国市の3市が連携してスマートフォンを活用した観光情報アプリ「広島・宮島・岩国観光ナビ」の提供を行っています。このアプリケーションは、各地の観光情報や3市それぞれを出発地とした横断モデルコースを閲覧できるなど、**効率よく各観光スポットを巡ることができる**よう工夫されています。

3市を周遊する観光客の利便性向上



岩国錦帯橋空港

平成27年9月24日、開港から約2年9か月で利用者100万人を達成！空港ターミナルビルでは記念セレモニーが行われました。



平成28年3月27日からは、沖縄(那覇)線の新規就航(1日1往復の毎日運航)、東京(羽田)線の増便(1日4往復⇒5往復)が行われ、観光にビジネスに、ますます便利になりました。

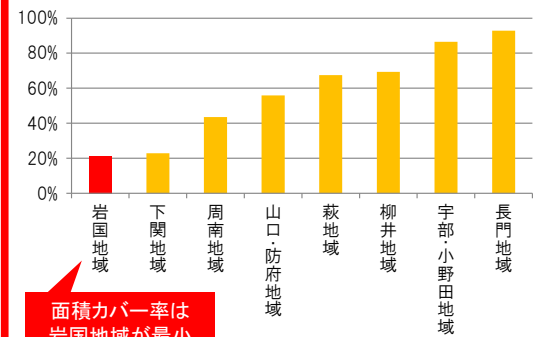


地域内での交流・連携

【19市町30分圏カバー圏域】(H27現況)

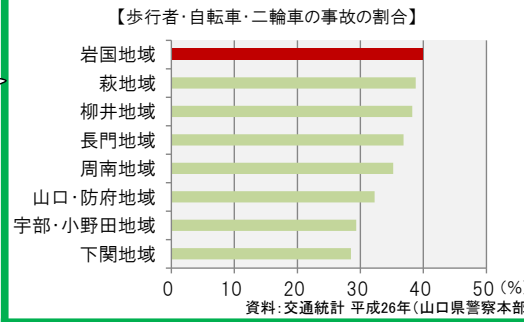


資料: H22道路交通センサス



県内共通 多発する「歩行者・自転車・二輪車の事故」

岩国地域では、交通事故発生件数のうち「歩行者・自転車・二輪車」の事故の占める割合は約4割と、県内の他の地域に比べて高くなっています。歩行者や自転車利用者を交通事故から守る取組が必要です。



県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。



県内共通 橋梁の耐震補強

大規模地震時に緊急輸送道路の橋梁や離島架橋、跨線橋、跨道橋が倒壊や落橋すると、救急・救援活動や緊急物資の輸送などに重大な支障が生じます。



錦帯橋 日本一長いアーチ型木橋



潮風公園みなとオアシスゆう



2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

I 産業・地域を『支える』

- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

1-a	国道188号 (岩国南バイパス南伸)
1-b	(仮)玖西地区外郭環状道路

等

II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

1-c	国道187号
1-d	県道柳井周東線

等

III 災害に『備える』

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

1-e	国道434号
1-f	国道437号

等

IV 未来に『つなぐ』

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道187号
県道岩国玖珂線

等

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面对策
- 耐震化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ

- 道の駅
- 市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	事業内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
1-1	国道2号 (栄橋)	耐震化	完成 (H28)	●	●	●	●
1-2	国道2号 (岩国・大竹道路)	バイパス	事業継続	●	●	●	
1-3	国道434号 (須川バイパス)	バイパス	完成	●	●	●	
1-4	県道岩国大竹線 (関ヶ原～小瀬)	現道拡幅	部分完成	●	●	●	
1-5	県道岩国大竹線 (森ヶ原)	バイパス	完成	●	●	●	
1-6	県道岩国玖珂線 (欽明路～柳井田上)	バイパス	部分完成	●	●	●	
1-7	県道徳山本郷線 (尾崎)	バイパス	事業継続	●		●	
1-8	県道岩国錦帯橋空港線 (旭町)	現道拡幅	完成	●	●	●	
1-9	県道岩国美和線 (阿品)	現道拡幅	完成	●		●	
1-10	県道北中岩国線 (田ノ口)	現道拡幅	完成	●		●	
1-11	県道久杉高水停車場線 (差川)	バイパス	部分完成	●	●	●	
1-12	県道銭壺山公園線 (有家)	現道拡幅	完成	●		●	
1-13	国道187号 (荒瀬)	歩道整備	完成	●	●	●	
1-14	県道岩国大竹線 (多田)	交差点改良	完成	●	●	●	
1-15	県道柳井周東線 (上久原久田)	歩道整備	完成	●	●	●	
1-16	国道187号 (杭名～大野)	のり面对策	事業継続			●	
1-17	県道岩国美和線 (長谷大橋)	耐震化	完成			●	
1-18	国道187号 (出市第1～3トンネル)	長寿命化	事業継続				●
1-19	県道岩国大竹線 (御庄大橋)	長寿命化	完成				●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

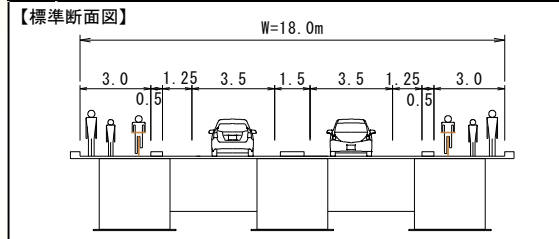
1 岩国地域の主な整備中箇所

1-1 国道2号(栄橋)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	耐震化
● 延長	L=0.4km
● 幅員	W=18.0m
● 着手年度	平成18年度



目的(効果)

- ◆ 大規模地震等災害に対する安全性・信頼性を確保します。
- ◆ 岩国から大竹間の幹線道路の快適性を向上します。
- ◆ 安全で快適な歩行空間を確保します。

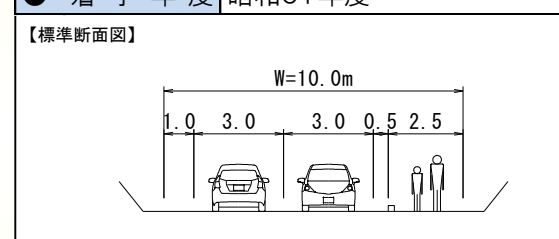


1-3 国道434号(須川バイパス)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=11.3km
● 幅員	W=10.0m
● 着手年度	昭和61年度



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 広島県や島根県との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

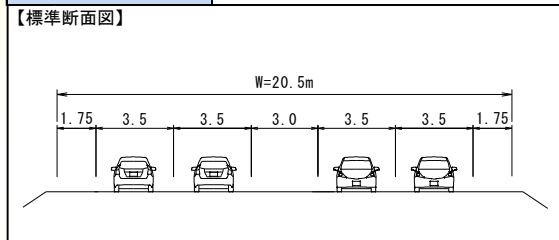


1-2 国道2号(岩国・大竹道路)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=9.8km
● 幅員	W=19.0~20.5m
● 着手年度	平成13年度



目的(効果)

- ◆ 岩国から大竹間における慢性的な渋滞を緩和します。
- ◆ 岩国から大竹間における国道2号の交通事故の減少を図ります。
- ◆ 広島県との広域的な連携強化や交流促進を図ります。

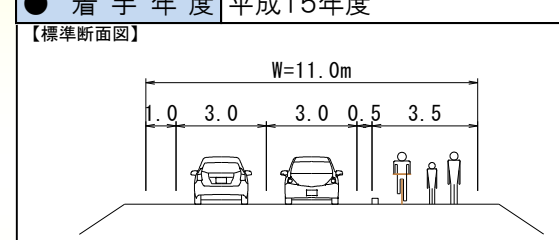


1-4 県道岩国大竹線(関ヶ浜～小瀬)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=0.9km
● 幅員	W=11.0m
● 着手年度	平成15年度



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 広島県との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の主な整備中箇所

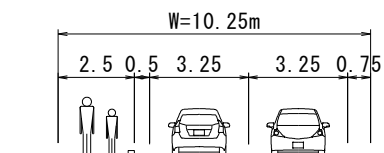
1-5 1 県道岩国大竹線(森ヶ原)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=1.6km
● 幅員	W=10.25m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 高さ制限箇所の回避により、大型車の通行を可能にします。
- ◆ 岩国市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道岩国ICや山陽新幹線新岩国駅、岩国錦帯橋空港へのアクセス性を向上します。



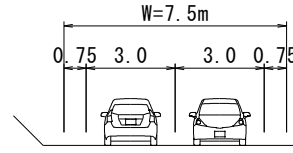
1-7 69 県道徳山本郷線(尾崎)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.7km
● 幅員	W=7.5m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道187号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



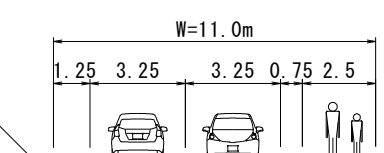
1-6 15 県道岩国玖珂線(欽明路～柳井田上)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=3.2km
● 幅員	W=11.0m
● 着手年度	平成12年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 玖珂市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道玖珂ICへのアクセス性を向上します。
- ◆ 旧玖珂町と岩国市街地との連携強化を図ります。



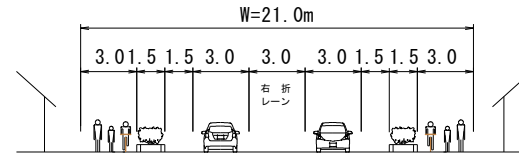
1-8 110 県道岩国錦帯橋空港線(旭町)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=0.4km
● 幅員	W=21.0m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 空港入口交差点における渋滞を緩和します。
- ◆ 岩国錦帯橋空港へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の主な整備中箇所

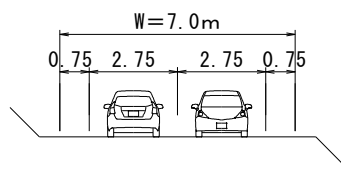
1-9 111 県道岩国美和線(阿品)

支える	守る	備える	つなぐ
●		●	

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.9km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道2号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



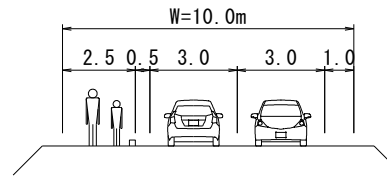
1-11 142 県道久杉高水停車場線(差川)

支える	守る	備える	つなぐ
	●	●	

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=1.2km
● 幅員	W=10.0m
● 着手年度	平成10年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 高さ制限箇所の回避により、大型車の通行を可能にします。
- ◆ JR岩徳線米川駅へのアクセス性を向上します。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。



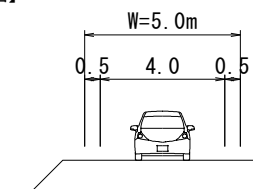
1-10 135 県道北中山岩国線(田ノ口)

支える	守る	備える	つなぐ
●		●	

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.0km
● 幅員	W=5.0m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。



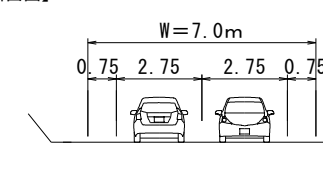
1-12 150 県道銭壺山公園線(有家)

支える	守る	備える	つなぐ
	●	●	

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=2.8km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成15年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 山口県ふれあいパーク(山口県由宇青少年自然の家)へのアクセス性を向上します。



2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の主な整備中箇所

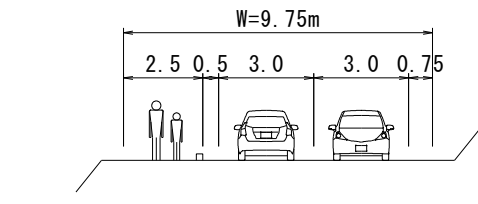
1-13 国道187号(荒瀬)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=1.5km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成15年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。



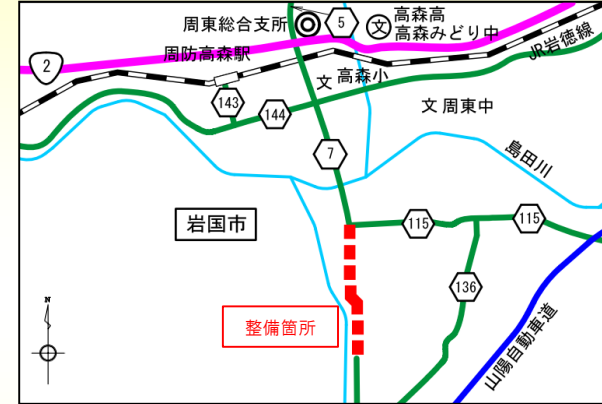
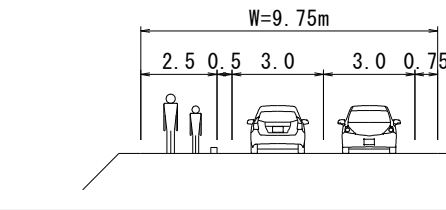
1-15 県道柳井周東線(上久原久田)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=0.9km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 線形を改良し、急なカーブを解消します。



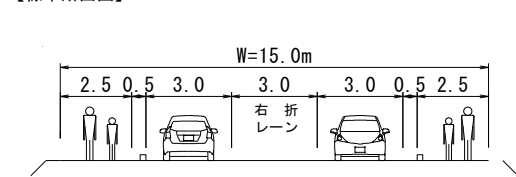
1-14 県道岩国大竹線(多田)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	交差点改良
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=15.0m
● 着手年度	平成28年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 御庄大橋北交差点における渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道岩国ICへのアクセス性を向上します。



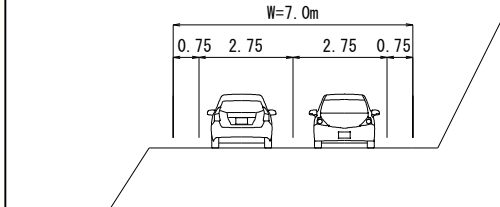
1-16 国道187号(杭名～大野)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	のり面対策
● 延長	L=1.7km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成23年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

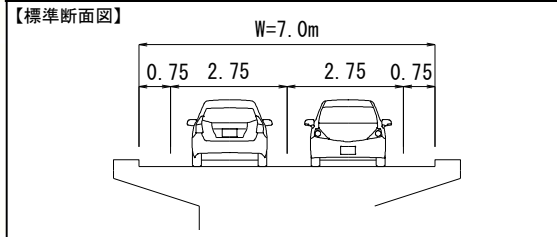
1 岩国地域の主な整備中箇所

1-17 111 県道岩国美和線(長谷大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

概要

● 内容	耐震化
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成23年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、地震後、橋梁としての機能の回復が速やかに行い得る性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

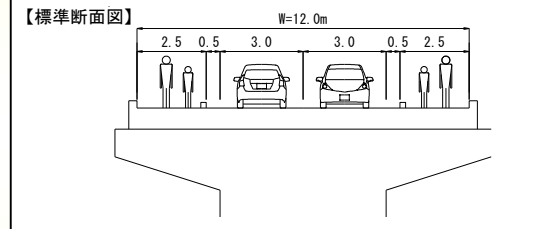


1-19 1 県道岩国大竹線(御庄大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=12.0m
● 着手年度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

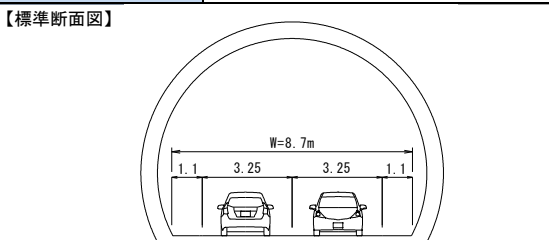


1-18 187 国道187号(出市第1~3トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=8.7m
● 着手年度	平成28年度



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

